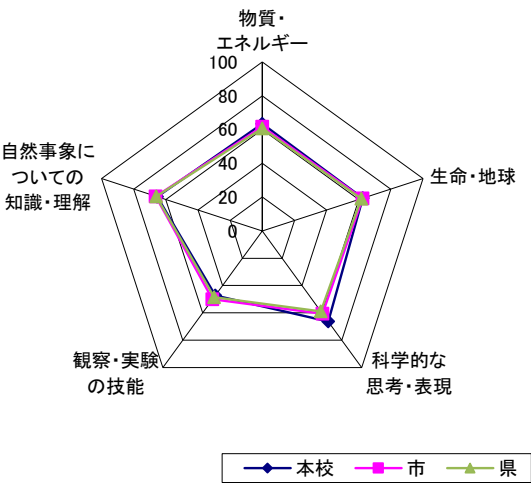


宇都宮市立桜小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	63.4	61.7	60.7
	生命・地球	62.5	62.4	61.6
観点	科学的な思考・表現	66.3	60.6	58.9
	観察・実験の技能	47.2	50.1	48.6
	自然事象についての知識・理解	65.4	66.3	66.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「空気と水の性質」については、市の平均正答率を大きく上回っている。 ●「電気の働き」については、市の平均正答率をやや下回っており、また、内容の理解度に二極化が見られる。	・実験の方法や結果を、図や絵を使ってまとめる活動を行うことで、電気の流れや回路を視覚的に理解できるようにしたい。
生命・地球	○この領域全体で、市の平均正答率をやや上回っている。 ○「天気の様子」についての問題の正答率が、市の平均正答率を上回っている。 ●「季節と生物」では、季節ごとの生物の様子についての理解が、少し低かった。	・季節と生物の様子の関係性を理解させるために、季節ごとの生物の観察など、体験型の学習を充実させていく。 ・「科学的な思考・表現」を問う問題の正答率が高いので、引き続き、事象に対する理由を考え、表現する活動を続けていく。